

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年4月26日

事業所名：練馬区立こども発達支援センター

区分	評価項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		設置基準を遵守している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		配置基準を遵守している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		視覚的に分かりやすいこと、余計な刺激が入らないことに気をつけている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者アンケート等、ニーズの把握に努めている。	保護者の意見を引き続き支援に反映させる。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		練馬区のホームページで公表している。また結果に示された課題を職員で共有し検討している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			令和4年度実施
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		研修補助制度を実施している。	研修計画を立て、できるだけ多くの職員が研修を受けられるようにする。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		計画はクラス全体で検討している。	現在の方針を継続する。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		知能検査、発達検査を使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		年度に3回の見直しをしている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		クラス毎の会議を設定している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子どもの発達に応じてプログラムを考案している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをしその日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼、クラス毎の打合せで確認している。	

区分	評価項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 または改善目標
適切な支援の提供	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		夕礼、クラス毎の振り返りを行っている。	
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		概ね導入期－前期－後期－終了時にモニタリングを行い、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		関係機関の子育て事業に協力している。	
	23 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		令和2年4月より居宅訪問型児童発達支援を実施している。	
	24 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		必要に応じ実施している。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		幼稚園、保育園との連携会議(引継ぎ)、サポートシートの作成支援を実施。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		就学支援シートの作成、保育所等訪問支援での接続支援を実施	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		連携会議に職員を派遣している。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		今後検討する。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			該当せず。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		療育終了後に保護者との懇談を実施。個別に短時間での情報交換。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		懇談や面談でペアトレの視点も含め支援を行っている。		
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		児童発達支援管理責任者、相談部門心理職などと連携し相談に応じている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		

区分	評価項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 または改善目標
保護者への説明責任等	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		マニュアルに沿って対応。他の専門職との連携を図っている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		クラス便り、活動カレンダー、保健便りを月ごとに発行、また栄養便りは隔月発行している。	令和6年度は、栄養便りも毎月発行する
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		掲示板等の利用	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルの要点や訓練について、保護者へ周知を行っている。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43 事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		保護者、看護師、担任と情報共有し連携している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		夕礼時に報告、共有	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止・身体拘束適正化検討委員会を設置	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			